

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
280	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名（原題／訳）	
Legal interventions to reduce alcohol-related cancers. アルコール関連癌を軽減する法的介入	
執筆者	
Davoren SL.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Public Health. 2011 Dec;125(12):882-8.	
キーワード	
法律、癌、アルコール	
<b>要 旨</b> アルコール関連の害における研究と公共政策の文献は、主に短期間のアルコール政策の影響に焦点が当てられる。しかし、癌を含むアルコール関連の慢性疾患への介入効果のエビデンスは増加している。商品の価格上昇と消費減少のために入手を制限する介入および長期間の健康増進を理解することは、タバコ規制の経験より支持される。その間にも、アルコール政策開発において、アルコール産業からの負の関与は、初期の介入と潜在的な多くの命を救う努力を妨げている。アルコール関連癌の負担がより明確になっているため、効果的なアルコール政策は速やかに導入されるべきである。 本論文は、アルコール摂取を減らす重要な法的介入、アルコール関連癌のリスクを減らす介入の可能性およびこれらの介入を実行する上での障壁について紹介する。包括的なアルコール政策発動の議論と同様にオーストラリア、ニュージーランド、英国における法改正の努力が例として挙げられる。	